

広島・グアナファト連携セミナーの開催について

1 要旨・目的

広島県は、平成25年にメキシコ・グアナファト州と経済交流に関する覚書を締結し、現在まで両県州間の経済分野における関係強化を図っている。

現在、独立行政法人国際協力機構（以下「JICA」という。）において、中南米で厳しい社会課題の解決に取り組む革新的な現地ソーシャル・スタートアップを日本に招き、日本側パートナーと共に日本社会の課題解決を目指すアクセラレーション・プログラム「BAILA (Bilateral Acceleration of Innovation with Latin America)」が実施されている。

その中で、広島県内で事業展開を目指すメキシコのスタートアップの公募が令和7年6月に行われ、公開コンペティションを通じて応募総数32社の中から、グアナファト州のEcoScience Lab社（以下「EL社」という。）が採択された。

この度、9月15日からの1週間、EL社のCEOであるニコラス・アンヘレス氏が来日し、県内の産学官関連機関との連携に向けた協議を行うことに合わせて、セミナーを開催する。

2 開催概要

開催日時	令和7年9月16日（火）15時00分～17時00分
会 場	ひろしま国際センター 交流ホール・大ホール
対 象 者	県内企業・大学・自治体関係者など
主 催	JICA、広島グアナファト親善協会、広島県
タイトル	メキシコの社会起業家と共に広島の社会課題解決に挑む ～微細藻類の光合成を利用した“呼吸する街灯”による大気汚染改善とバイオマス生産～
プログラム	プレゼンテーション「BAILA プログラムの概要・これまでの歩み」（JICA） プレゼンテーション「EcoScience Lab社の事業概要」（EL社）
EL社概要	クロレラ等の微細藻類による光合成を活用したバイオリアクター（微生物や酵素などを用いて、物質の合成や分解などを行う装置）を製造・販売する企業。このリアクターは路上や屋内ホール等に設置され、微細藻類が大気を吸排気して光合成を行うことで二酸化炭素や硫黄酸化物等を吸収するほか、副産物として生産されるバイオマスはコンポスト肥料などに活用される。また、リアクターには企業広告の掲示が可能で、企業活動における環境改善やカーボンニュートラルとの新たな関わり方も提唱される。
問い合わせ 申込先	JICA 中国 総務課（担当：森本） TEL：082-421-6300 FAX：082-420-8082 E-mail：cictad@jica.go.jp
URL	https://www.jica.go.jp/domestic/chugoku/information/event/1573303_23952.html

3 予算

非予算